



平成26年10月号



# 概 況

最近の県内経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響がみられるが、基調としては緩やかな持ち直しの動きが続いている。

まず個人消費関連では、大型小売店販売はほぼ横ばいながら5ヶ月連続のマイナス。自動車販売は、2ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少し、4ヶ月連続で前年同月を下回った。公共投資は、国、独立行政法人等、県、市町村のすべてが減少し、2ヶ月連続のマイナスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数（季節調整値）は前月比11.9%上昇の112.6と2ヶ月ぶりに前月を上回った。

25年県産リンゴ販売の年間累計は、県外出荷量が前年を下回ったものの、消費地市場価格が上昇し、県外市場販売額は前年を約1割上回った。八戸港の水揚げは、数量が増加したものの、金額はほぼ横ばいとなった。雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.01ポイント低下の0.79倍となったものの、引き続き高水準を維持している。

**○個人消費** 8月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比△0.0%と横ばいながら5ヶ月連続のマイナス。業態別では百貨店が同0.6%増、スーパーは同0.2%減となった。8月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比15.3%減の3,477台と2ヶ月連続のマイナスとなった。登録車が同10.7%減、届出車が同20.1%減とそれぞれ2ヶ月連続のマイナスとなった。

**○住宅投資** 8月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比24.5%減の462戸と4ヶ月連続のマイナスとなった。分譲住宅が同280.0%増となったものの、持家は同30.0%減、貸家は同29.4%減となった。

**○公共投資** 8月の**公共工事請負額**は全体で前年同月比31.2%減の149億600万円と2ヶ月連続のマイナスとなった。国が同44.3%減、県が同4.8%減、市町村が同43.0%減となった。なお独立行政法人等は実績がなかった。

**○一次産業** 農林水産省東北農政局の調査では、26年産水稻の県平均作柄(9月15日現在)は、10a当たりの予想収量が608kg、作況指数は「104」と見込まれている。**25年県産リンゴ販売**の年間累計は県外出荷量が前年比7.0%減となったものの、消費地市場価格が同20.5%上昇し、県外市場販売額は同10.1%増となった。8月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比14.4%増、金額は同0.5%減と、数量は増加したものの金額はほぼ横ばいとなっている。

**○生産活動** 7月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は前月比11.9%上昇の112.6と、2ヶ月ぶりに前月を上回った。食料品、業務用機械、パルプ・紙、電気機械が上昇した。原指数では前年同月比9.6%上昇の117.4となった。

# 一 次 産 業

米

☆ 26年産米、作況指数は「104」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成26年産水稻の県平均作柄(9月15日現在)は、10aあたりの予想収量が608kg、作況指数は「104」と見込まれており、予想収量は東北平均を上回り、作況指数は東北平均と同水準になっている。平年と比べると、穂数が「多い」、1穂当たりもみ数が「やや多い」、全もみ数が「多い」、登熟が「やや不良」と見込まれている。

作柄表示地帯別にみると、登熟は青森地帯、南部・下北地帯ともに「やや不良」、津軽地帯が「不良」と見込まれている。10aあたりの予想収量と作況指数をみると、青森地帯は589kgの「103」、津軽地帯が631kgの「104」、南部・下北地帯が566kgの「105」と、いずれも平年を上回る作柄が見込まれている。

26年産水稻の作柄概況(9月15日現在)

作柄表示地帯	10a当たり (kg)		作況指数	穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
	予想収量	平年収量					
青森県平均	608	584	104	多い	やや多い	多い	やや不良
青森地帯	589	570	103	やや多い	やや多い	多い	やや不良
津軽地帯	631	609	104	多い	平年並み	多い	不良
南部・下北地帯	566	540	105	やや多い	平年並み	多い	やや不良
東北平均	583	559	104	多い	平年並み	多い	やや不良

資料出所: 東北農政局青森農政事務所

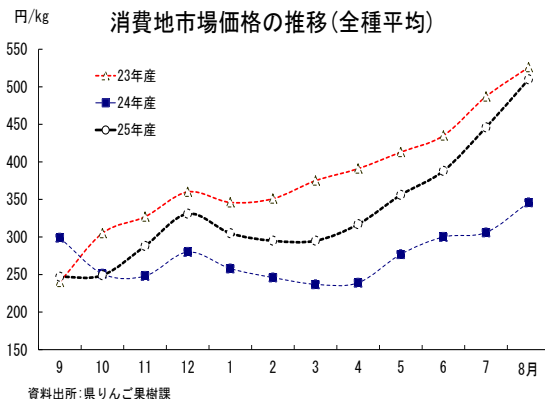
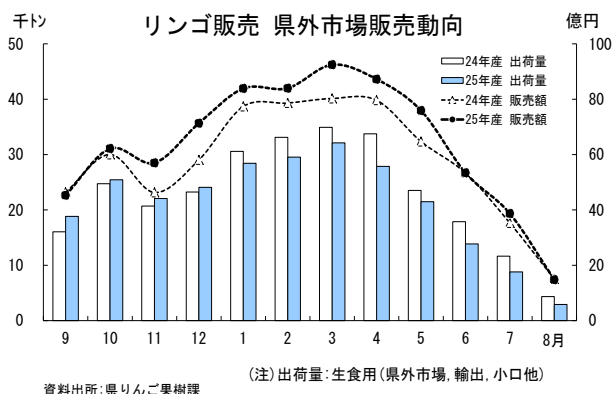
(注) 出穂最盛期とは、出穂済み面積割合が50%に達した期日。「対平年差」は前5ヶ年の平均値との比較。

りんご

☆ 25年産累計、県外市場販売額は前年比10.1%増

25年県産りんご販売、8月の県外出荷量は前年同月比32.9%減の2,911トンとなった。これは前3ヶ年の8月平均出荷量を25.5%下回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比47.4%上昇、前3ヶ年比較で29.1%上昇の510円/kgとなり、県外市場販売額は前年同月比1.5%減、前3ヶ年比較で5.6%増の14億7,900万円となった。

25年産県産りんご販売は、市場での品薄感に加え、本県産りんごの品質が良好であったことから消費地市場価格が高値で推移し、累計では前年比20.5%上昇の317円/kgとなった。この結果、県外出荷量は累計で前年比7.0%減の25万5,696トンとなったものの、県外市場販売額は同10.1%増の766億8,100万円と前年産を上回った。

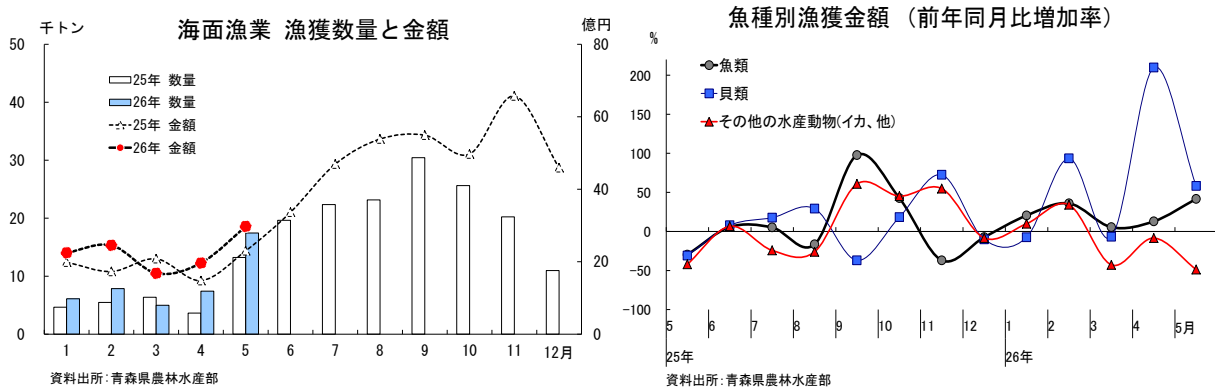


## 海面漁業

### ☆ 5月の漁獲数量、前年同月比 31.9%増、金額 29.4%増

5月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比 31.9%増の 1万 7,461 トン、漁獲金額は同 29.4%増の 29億 7,547 万円となった。これは前年同月に比べ、スルメイカ（近海・生/海外）がほぼ全減となったものの、ホタテガイ（半成貝/成貝）、スケトウタラ、ブリの大幅な伸びが全体の漁獲数量、金額を押し上げた。

主な魚種別にみると、「魚類」は数量が前年同月比 4.0%増の 3,166 トン、金額は同 41.6%増の 8億 2,972 万円となった。「貝類」は数量が同 58.4%増の 1万 3,759 トン、金額は同 58.1%増の 18億 1,211 万円となった。イカなどの「その他の水産動物」は数量が前年同月比 72.8%減の 345 トン、金額は同 48.8%減の 2億 5,066 万円となった。



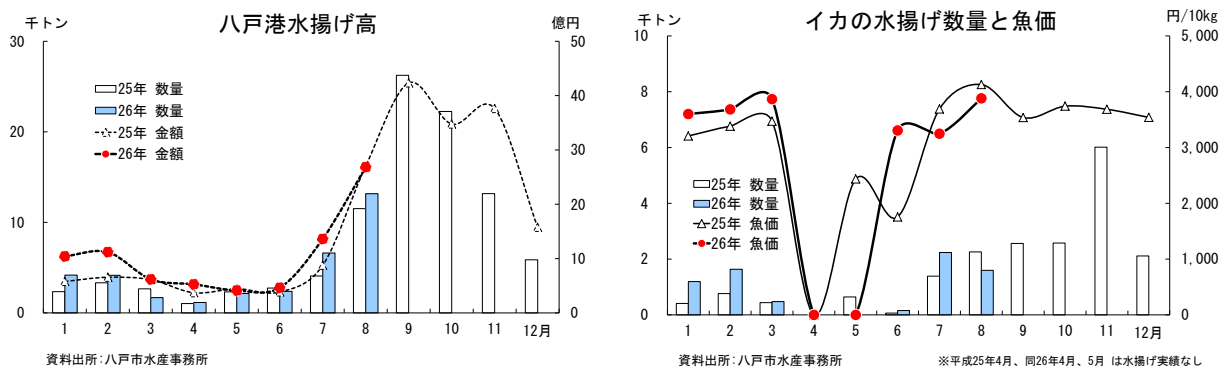
## 八戸港水揚げ

### ☆ 8月水揚げ、数量 14.4%増、金額 0.5%減

8月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 14.4%増の 1万 3,172 トン、金額が同 0.5%減の 26億 8,587 万円と、数量が増加したものの、金額はほぼ横ばいとなった。

イカ釣り漁は、船凍スルメイカが、数量、金額とも大幅に落ち込んだほか、船凍アカイカの水揚げが減少し、全体では、数量は同 29.2%減少の 1,597 トン、金額は同 33.4%減の 6億 2,002 万円だった。

大中型旋網漁は、サバ、イワシの水揚げが好調で、数量が同 18.7%増加の 1万 38 トン、金額は同 2.6%増の 14億 7,957 万円となった。機船底引き網漁は、大型船の倉出しにより数量が同 126.3%増加の 421 トンと大幅に増加した。一方、金額は中型船の水揚げがシケの影響から伸び悩み、同 11.7%増の 2億 68 万円にとどまった。



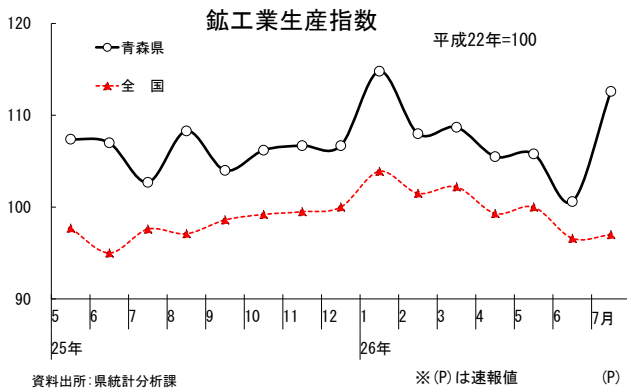
## 二次産業

### 鉱工業生産

### ☆ 鉱工業生産指数、前月比 11.9%上昇

7月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比11.9%上昇の112.6と、2ヶ月ぶりに前月を上回った。主要6業種をみると、鉄鋼が同4.8%、電子部品・デバイスが同3.9%低下したものの、食料品が同15.6%、業務用機械が同14.6%、パルプ・紙が同37.2%、電気機械が同13.9%それぞれ上昇した。このほかでは輸送用機械が同28.1%、金属製品が同9.4%、非鉄金属が同3.7%、はん用機械が同25.5%減少したものの、化学が同333.8%、生産用機械が同28.2%それぞれ上昇した。

原指数では、化学、電子部品・デバイス、金属などが寄与し、前年同月比9.6%上昇の117.4となった。鉱工業生産指数は、19ヶ月連続で100を超えており高めの生産水準は続いている。



業種別生産指数(平成26年7月)

業種 ( )内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比(%)	平成22年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10,000.0)	112.6	11.9	117.4	9.6
食料品 (2,410.0)	114.4	15.6	113.4	5.9
鉄鋼 (1,200.9)	88.5	△4.8	92.4	△15.5
電子部品・デバイス (1,048.2)	160.2	△3.9	177.8	24.2
業務用機械 (1,005.1)	104.9	14.6	120.9	2.7
パルプ・紙 (722.3)	94.1	37.2	97.9	2.6
電気機械 (429.2)	100.1	13.9	110.0	0.5

資料出所: 県統計分析課

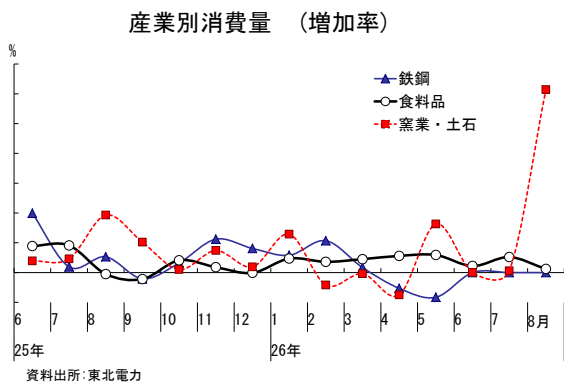
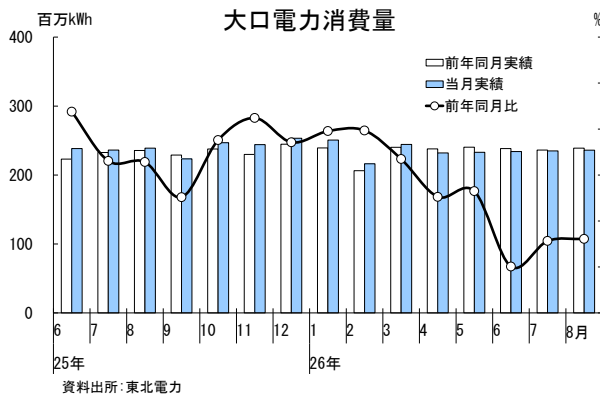
### 大口電力

### ☆ 5ヶ月連続マイナス、前年同月比 7.0%減

8月の県内大口電力消費量は、前年同月比7.0%減の2億2,237万kWhとなった。うち製造業は同9.5%減の1億5,676万kWhとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、消費ウエートの高い鉄鋼が同24.8%減と大幅に落ち込んだほか、化学が同8.5%減、パルプ・紙が同5.9%減、機械が同1.3%減、公益事業が同0.4%減となった。一方、窯業・土石は同61.4%増、非鉄金属は同8.3%増、鉱業は同1.8%増、食料品は同1.2%増などとなった。

当月の県内大口電力消費量は、消費ウエートの高い鉄鋼を始め、化学、パルプ・紙などが前年実績を下回り、全体では5ヶ月連続でマイナスとなった。



## 公共工事

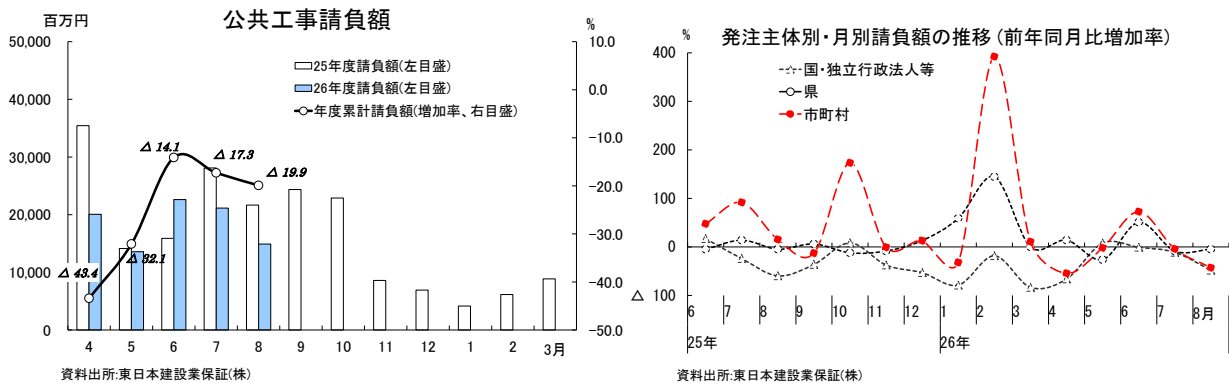
### ☆ 前年同月比 31.2%減、2ヶ月連続マイナス

8月の東日本建設業保証（株）の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 31.2%減の 149 億 600 万円と 2ヶ月連続でマイナスとなった。

当月の請負額は、国は国土交通省や農林水産省が減少し、同 44.3%減の 19 億 6,800 万円となった。独立行政法人等は実績がなく、2 億 5,300 万円の全減となった。

県は農林水産部が微増したものの、県土整備部が減少し、同 4.8%減の 69 億 3,800 万円となった。市町村は六ヶ所村、つがる市、むつ市などで減少し、同 43.0%減の 48 億 7,600 万円となった。

当月は、国、独立行政法人等、県、市町村が、それぞれ前年実績を下回り全体を押し下げた。



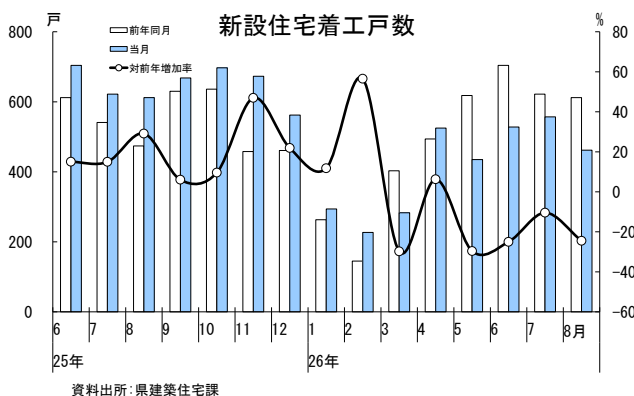
## 住宅着工

### ☆ 前年同月比 24.5%減、4ヶ月連続マイナス

8月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 24.5%減の 462 戸と 4ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、持家が同 30.0%減、貸家が同 29.4%減。一方、分譲住宅は同 280.0%増となった。

地域別にみると、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、三沢市、むつ市、つがる市、郡部で減少し、十和田市、平川市で増加した。

持家は、十和田市、平川市で増加したものの、他地域ではすべて前年実績を下回った。貸家は八戸市、十和田市で増加したものの青森市、五所川原市、弘前市などで減少した。分譲は、青森市、弘前市、八戸市などで増加した。新設住宅着工は、駆け込み需要の反動減の影響が続いており、前年実績を下回って推移している。



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	26年 8月	25年 8月	前年 同月比
持家	308	440	△ 30.0
貸家	113	160	△ 29.4
給与住宅	3	2	50.0
分譲住宅	38	10	280.0
総戸数	462	612	△ 24.5

資料出所: 県建築住宅課

# 三 次 産 業

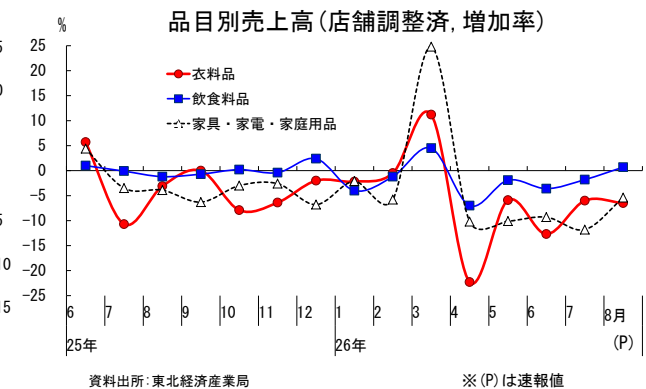
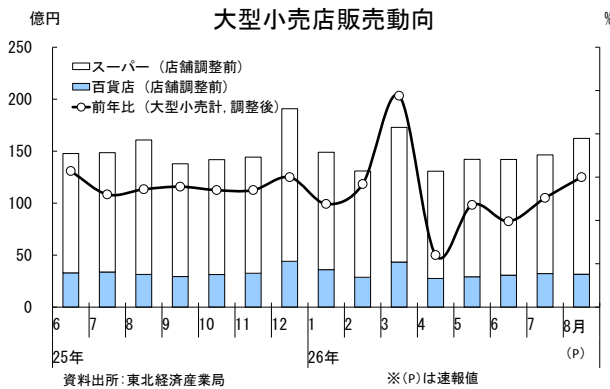
## 大型小売店販売

### ☆ 駆け込み需要の反動減やや一服感

8月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比△0.0%とほぼ横ばいながら5ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同0.6%増、スーパーは同0.2%減となった。

品目別では、ウエートの高い飲食料品が同0.7%増、身の回り品が同4.5%増、その他の商品が同1.4%増となったものの、衣料品は同6.5%減、家具・家電・家庭用品計は同5.4%減などとなった。飲食料品は、お中元や涼味食材が振るわなかったものの精肉や惣菜が好調だった。衣料品は、秋物衣料に動きがみられたものの夏物衣料のクリアランスセールなどが振るわず前年を下回った。

当月は、品目では、身の回り品、飲食料品などで幾分増加がみられた。一方、衣料品、家具、家電、家庭用品などは売上が伸び悩んだ。

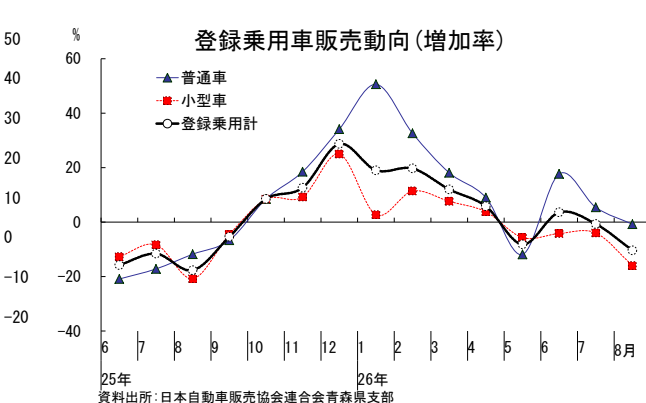
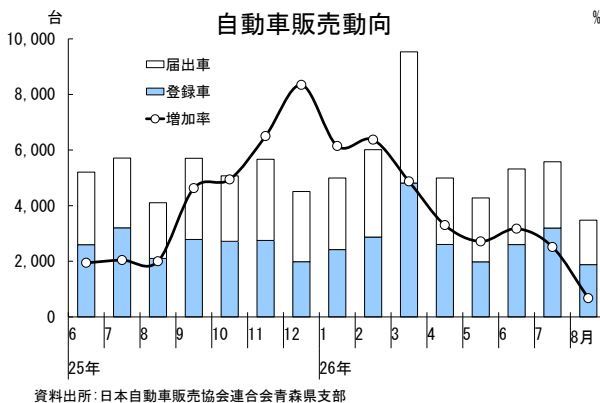


## 自動車販売

### ☆ 前年同月比 15.3%減、2ヶ月連続のマイナス

8月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 15.3%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同0.8%減、小型乗用車が同16.0%減、貨物車が同6.6%減となり、登録車合計では同10.7%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。届出車は乗用車が同22.9%減、貨物車が同11.3%減となり、届出車合計では同20.1%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同10.4%減、届出乗用車合計が同22.9%減となり、全体では同16.2%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。

県内の自動車販売は、小型乗用車、届出車の落ち込みが全体を押し下げ2ヶ月連続のマイナスとなった。



消費者物価指数

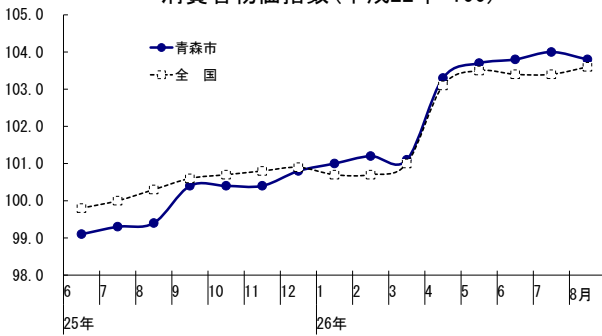
☆ 前月比 0.1%下落、前年同月比 4.4%上昇の 103.8

8月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.1%下落、前年同月比4.4%上昇の103.8となった。主要費目別に前月と比べると、被服及び履物が履物類などの値下がりにより1.6%、家具・家事用品が家事用消耗品の値下がりにより1.1%、教養娯楽が教養娯楽用耐久財などの値下がりにより0.7%それぞれ下落した。

前年同月との比較では、電気代などの値上がりによる「光熱・水道」(8.8%)のほか、生鮮魚介の値上がりによる「食料」(6.8%)、教養娯楽用耐久財の値上がりによる「教養娯楽」(6.3%)、シャツ・セーター・下着類の値上がりによる「被服及び履物」(5.3%)などの変動が大きかった。

なお生鮮食品を除く総合指数は前月比0.2%下落、前年同月比3.9%上昇の103.4となった。

消費者物価指数(平成22年=100)



資料出所: 県統計分析課

費目別指数の動き(平成26年8月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.8	△ 0.1	4.4
食料	103.4	0.2	6.8
住居	99.1	△ 0.1	0.9
光熱・水道	122.5	0.5	8.8
家具・家事用品	88.7	△ 1.1	0.0
被服及び履物	102.7	△ 1.6	5.3
保健医療	98.9	△ 0.2	1.0
交通・通信	107.0	△ 0.3	2.7
教育	100.0	0.0	3.3
教養娯楽	98.4	△ 0.7	6.3
諸雑費	108.4	△ 0.1	4.1

資料出所: 県統計分析課

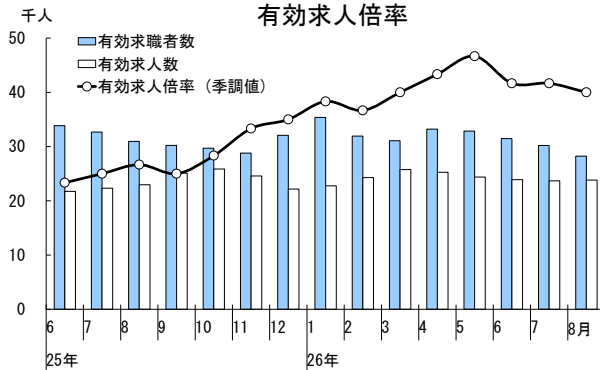
雇用動向

☆ 有効求人倍率、前月比 0.1ポイント低下の 0.79倍

8月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比3.8%増の2万3,832人、有効求職者数は同8.8%減の2万8,241人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.1ポイント低下の0.79倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比8.5%増となったものの、臨時・季節求人数は同22.0%減、パート求人数は同8.7%減となった。この結果、全数では同2.2%減の9,138人となり、41ヶ月ぶりのマイナスとなった。主要産業別の新規求人動向では、食料品、業務用機械などの製造業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉等、建設業で増加がみられたものの、運輸業・郵便業、卸売業、小売業、生活関連サービス業・娯楽業などで減少した。

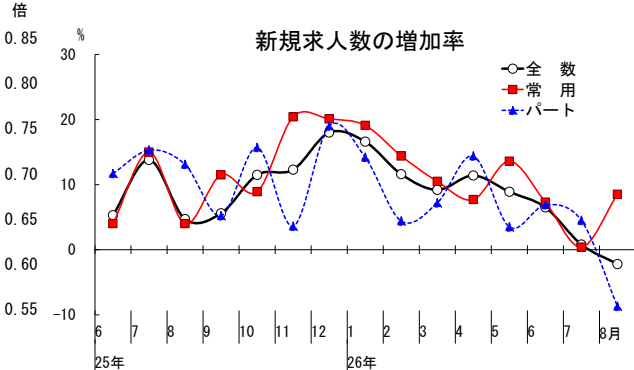
県内の雇用状況は、有効求人倍率が先月よりやや低下したものの0.79倍と引き続き高水準で推移しており、改善基調は継続しているものとみられる。

有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局



## 企業倒産

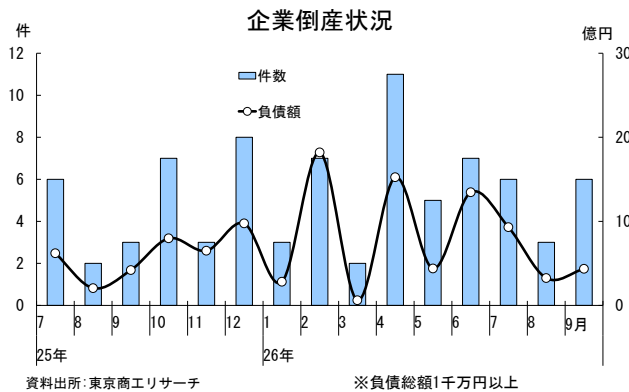
### ☆ 前年同月比 倒産件数 3 件、負債総額 1,500 万円増加

9月の県内企業倒産は、件数が前年同月比3件増の6件、負債総額は同1,500万円増の4億3,500万円となった。前月比では件数が3件増、負債総額が1億1,000万円増となった。業種別では、小売業が2件、林業、建設業、不動産業、サービス業が各1件となった。原因別では、販売不振が4件、過小資本が2件となった。地域別では弘前市が3件、青森市、むつ市、上北郡が各1件の発生となった。

当月の県内企業倒産は、いずれも小・中規模クラスの倒産であった。倒産件数は一桁台で推移し小康状態を保っているが、このところ前年を上回るペースで推移している。

なお企業倒産に伴う従業員被害者数は単月では26名で、1月からの年間累計は367名となった。

業種別・原因別件数（平成26年9月）



業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	1	放漫経営	
建設業	1	過小資本	2
製造業		他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業	2	信用低下	
金融・保険業		販売不振	4
不動産業	1	売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他	1	その他	
合計	6	合計	6

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

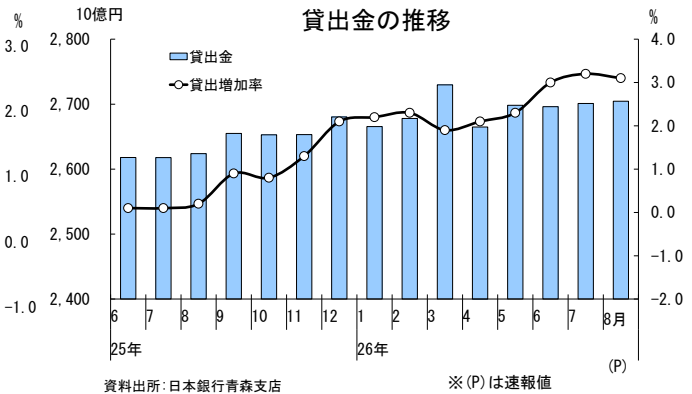
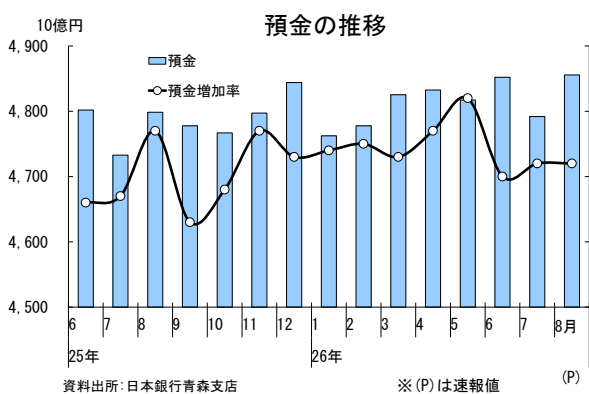
## 金融動向

### ☆ 預金、貸出金とも 16ヶ月連続のプラス

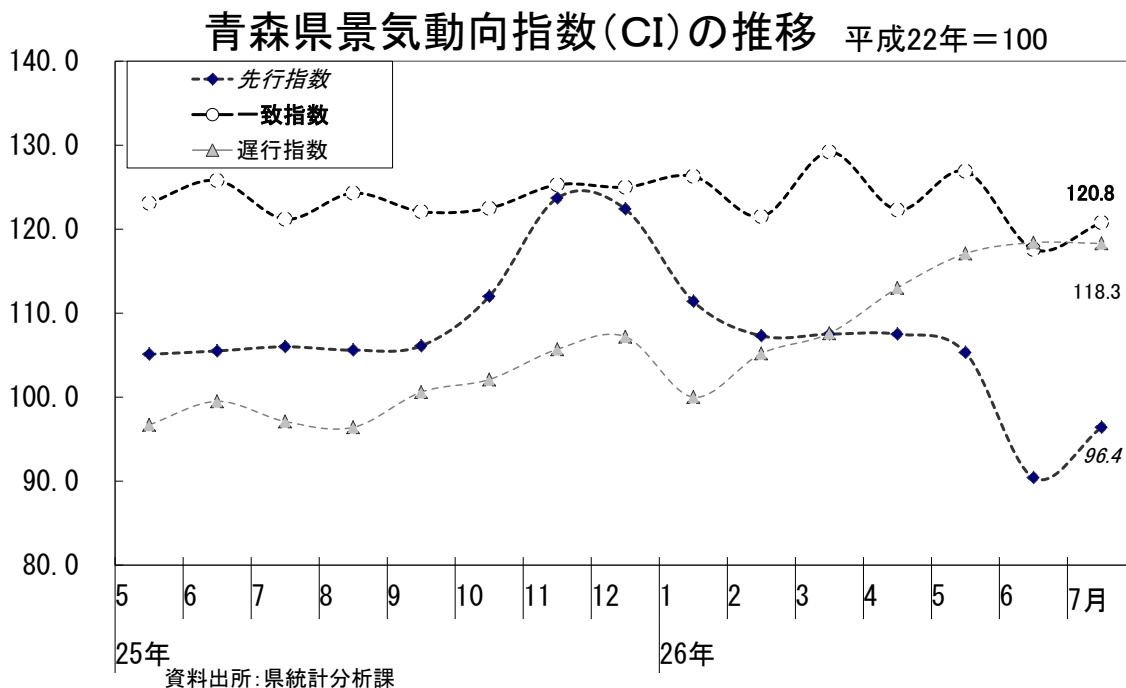
8月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比1.2%増の4兆8,556億円、貸出金は同3.1%増の2兆7,045億円となった。7月に比べ前年同月比のプラス幅は、預金は横ばい、貸出は縮小となったものの、ともに16ヶ月連続のプラスとなった。

預金は、法人、個人および公金預金の増加により前年を上回った。

一方、貸出金は、法人向けが前年を下回ったものの、個人および地公体向けが前年を上回って推移したことから、全体では前年を上回った。



# 青森県景気動向指数



## 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示  
下段: 寄与度

採用系列名	26年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
1. 大型小売店販売額(既存店)	○ 0.90	○ 3.17	● △ 3.94	○ 2.17	● △0.56	○ 0.88
2. 旅行取扱高	● △ 0.38	○ 1.46	● △ 1.50	○ 1.66	● △0.18	● △0.26
3. 鉱工業生産指数	● △ 2.20	○ 0.17	● △ 1.11	○ 0.05	● △1.79	○ 2.63
4. 大口電力使用量	● △ 1.93	● △ 0.05	● △ 0.86	○ 0.67	● △2.79	○ 0.03
5. 有効求人倍率(全数)	● △ 1.30	○ 0.83	○ 0.81	○ 0.78	● △2.71	● △0.59
6. 輸入通関実績(八戸港)	● △ 0.29	○ 0.14	○ 1.16	○ 0.69	○ 0.25	● △0.86
7. 東北自動車道IC利用台数	○ 0.56	○ 0.57	● △ 1.52	● △1.42	● △0.39	○ 0.32

資料出所: 県統計分析課

### ※ 景気動向指数 (CI: Composite Index) とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

## 国内景気

### ☆概況

国内景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、このところ足踏みがみられる。公共投資は、総じて堅調に推移している。貿易・サービス収支は、赤字が、このところ横ばいとなっている。国内企業物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。生産は駆け込み需要の反動の影響もあり弱含み。

### ☆大型小売店販売（既存店ベース）

#### —前年同月比 1.6%増—

8月の大型小売店販売は前年同月比 1.6%増となった。業態別にみると、百貨店が同 2.0%増、スーパーが同 1.4%増となった。商品別にみると、衣料品が同 1.0%増、飲食料品が同 2.0%増、その他商品は同 1.1%増となった。

### ☆住宅建設

#### —6ヶ月連続のマイナス—

8月の新設住宅着工戸数は前年同月比 12.5%減の 7万 3,771戸と 6ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別にみると、貸家が同 3.8%減と 2ヶ月連続の減少となったほか、持家は同 22.7%減、分譲住宅も同 10.3%減とそれぞれ 7ヶ月連続のマイナスとなった。

### ☆企業倒産

#### —件数 4ヶ月連続、負債総額 7ヶ月連続減少—

8月の企業倒産は、件数が前年同月比 11.2%減の 727件、負債総額は同 18.3%減の 1,358億円。倒産件数は 4ヶ月連続減少、負債総額は 7ヶ月連続減少。負債総額の減少は、負債 1億円未満の小規模倒産が 7割強を占めたことなどによる。

### ☆為替動向

#### —9月末終値 109円 41銭—

9月の東京為替市場は前月末から続落、104円台前半でスタート。上旬は米国景気回復継続期待などから円売りドル買いとなり 106円台半ばすぎまで円安が進んだ。中旬以降は日米金利差拡大観測や日経平均株価の大幅上昇などから 109円台半ばすぎまで円安が進んだ、月末にかけても、米利上げ観測や金融緩和の長期化予測などから、109円 70銭台まで円安が進み、月末終値は 109円 41銭。

### ☆鉱工業生産指数

#### —前月比 1.5%低下—

8月の鉱工業生産指数は前月比 1.5%低下の 95.5(季節調整値)と再び低下。はん用・生産用・業務用機械、輸送機械、電気機械が低下に寄与。一方、化学(除、医薬品)、電子部品・デバイス、鉄鋼は上昇。なお生産予測調査では、9月ははん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、輸送機械等の上昇から当月比 6.0%上昇を予測。

### ☆新車販売（除く軽自動車）

#### —再びプラス、前年同月比 4.5%増—

9月の国内新車販売は前年同月比 4.5%増の 31万 5,326台と再びプラスとなった。内訳別では、乗用車が同 3.6%増、貨物車は同 11.5%増となった。乗用車は普通乗用車が同 7.6%増と 6ヶ月ぶりにプラス、一方、小型乗用車は同 0.2%減と 2ヶ月連続のマイナスとなった。

### ☆完全失業率

#### —前月比 0.3ポイント低下の 3.5%—

8月の完全失業率は前月比 0.3ポイント低下の 3.5%となった。完全失業者数は前年同月比 40万人減の 231万人となり、51ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が同 13万人減の 44万人、自己都合が同 8万人減の 93万人などとなった。

### ☆消費者物価指数

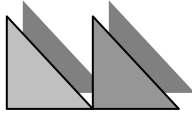
#### —前月比 0.2%上昇の 103.6—

8月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.2%上昇、前年同月比 3.3%上昇の 103.6となった。前月に比べ、教養・娯楽、食料などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は前月と同水準、前年同月比は 3.1%上昇の 103.5となった。

### ☆国際収支

#### —経常収支、2ヶ月連続で黒字—

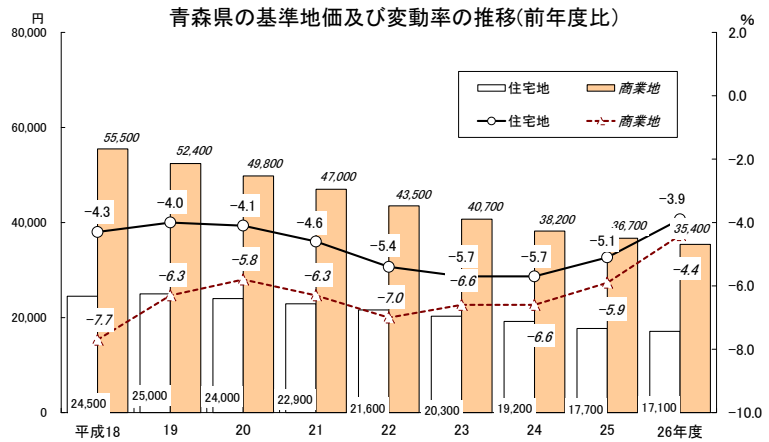
8月の経常収支額は 2,871億円と 2ヶ月連続で黒字となった。黒字幅は前年同月比 1,299億円拡大した。貿易・サービス収支、第二次所得収支がそれぞれ赤字幅を拡大したものの、第一次所得収支の黒字幅が拡大した。内訳は、貿易・サービス収支が 1兆 826億円の赤字、第二次所得収支が 1,503億円の赤字。第一次所得収支は 1兆 5,199億円の黒字。



# 今月の統計

## 青森県の基準地価

青森県が発表した平成26年度地価調査(7月1日時点の基準地価)によると、青森県の平均地価は、住宅地が17,100円で前年度比▲3.9%(同1.2ポイント上昇)、商業地は35,400円で同▲4.4%(同1.5ポイント上昇)となった。県内の基準地価は住宅地が16年連続、商業地は23年連続で下落した。変動率では住宅地、



資料:青森県「平成26年度青森県地価調査」

商業地ともに下落幅が幾分縮小したものの、それぞれ全国ワースト2位となった。県内全40市町村の基準地421地点のうち、前年と比較できる412地点の変動率は401地点が下落、11地点で横ばいとなった。上昇地点はなかった。

東北各県の基準地価変動率をみると、住宅地は宮城県が前年度比1.2%、福島県が同1.0%と上昇した。一方、下落は秋田県が同▲4.4%、以下、青森県が同▲3.9%、山形県が同▲1.7%、岩手県が同▲1.3%となった。商業地は唯一宮城県だけが同2.0%と上昇した。一方、下落は秋田県が最大で同▲5.5%、以下、青森県が同▲4.4%、岩手県が同▲3.1%、山形県が同▲2.4%、福島県が同▲0.2%となった。宮城県と福島県が、住宅地、商業地ともに全国平均を上回ったが、他の4県は両変動率とも下回った。東京・大阪・名古屋の三大都市圏では、景気の緩やかな回復と相次ぐ再開発計画を反映し、住宅地が同0.5%、商業地が同1.7%それぞれ上昇した。

### 東北6県、全国の基準地価変動率

(%、ポイント)

	基準地価変動率					
	住宅地			商業地		
	平成25年度	平成26年度	増減	平成25年度	平成26年度	増減
青森県	▲5.1	▲3.9	1.2	▲5.9	▲4.4	1.5
岩手県	▲2.2	▲1.3	0.9	▲4.2	▲3.1	1.1
宮城県	0.7	1.2	0.5	0.6	2.0	1.4
秋田県	▲4.6	▲4.4	0.2	▲6.2	▲5.5	0.7
山形県	▲2.7	▲1.7	1.0	▲3.4	▲2.4	1.0
福島県	▲0.6	1.0	1.6	▲2.0	▲0.2	1.8
三大都市圏	▲0.1	0.5	0.6	0.6	1.7	1.1
全国平均	▲1.8	▲1.2	0.6	▲2.1	▲1.1	1.0

資料:国土交通省「平成26年都道府県地価調査」

#### 用語解説

基準地価………国土利用計画法に基づき都道府県知事が基準地を選定し、毎年7月1日現在の宅地基準地について公表する土地の基準価格。

県内

4日 平成26年産サンつがる、東京市場で好スタート

J A つがる弘前(弘前市)の平成26年産リンゴ「サンつがる」の初競りが、東京・大田市場で行われた。前年産に比べて大きさ、着色とも良く、評価が高かったことから、平均値は前年を362円上回る3,094円となり、好調なスタートを切った。

10日 本県の平成25年度経常収支比率、前年度比1.9ポイント改善

県が発表した平成25年度普通会計決算によると、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は93.9%となり、前年度比1.9ポイント改善(低下)した。また、県債残高(臨時財政対策債含む)は前年度を25億円下回る1兆3,107億円で、平成23年度から3年連続で減少した。

16日 平成26年産米の概算金過去最低、つがるロマン7,600円

全農県本部は、農家から販売委託を受けた際に前払いする平成26年産米の概算金(1等米、60キロ当たり)を、主力品種の「つがるロマン」で7,600円、「まっしぐら」で7,300円と決めた。ともに前年産を3,200円下回る過去最低額となった。

18日 平成26年度基準地価、全用途の下落率4.1%

県が公表した平成26年度地価調査によると、全用途の1平方メートル当たりの平均価格は前年度比4.1%下落し、2万800円となった。住宅地は同3.9%、商業地は同4.4%それぞれ下落した。

8月末の県内新規高卒者の求人、前年同月比39.9%増

青森労働局が発表した来春の県内新規高卒者に対する求人状況(8月末現在)によると、県内企業の求人数は前年同月比39.9%増(808人増)の2,835人となった。求人倍率は同0.31ポイント増の1.1倍で平成6年3月卒の1.2倍以来、21年ぶりの高水準となった。

24日 天皇、皇后両陛下、24年ぶりのご訪問

天皇、皇后両陛下は、24日～25日の日程で24年ぶりに本県を訪問された。24日は東北新幹線の臨時専用列車で八戸駅に到着後、東日本大震災で被災した八戸市の沿岸部の復興状況や三陸復興国立公園に指定された種差海岸などを視察された。25日は田舎館村の「田んぼアート」や黒石市のリンゴ園地などを視察され、青森空港から特別機で帰京された。

国内

1日 平成26年4-6月期の設備投資、前年同期比3.0%増

財務省が発表した平成26年4-6月期の法人企業統計によると、全産業(金融・保険業を除く)の設備投資は前年同期比3.0%増の8兆5,617億円となり、5-四半期連続の増加となった。

8日 平成26年4-6月期のGDP改定値、年率換算7.1%減

内閣府が発表した平成26年4-6月期の国内総生産(GDP、季節調整済み)改定値は、物価変動の影響を除いた実質が年率換算で前期比7.1%減となり速報値(同6.8%減)から下方修正された。

15日 65歳以上の高齢者人口3,296万人

「敬老の日」に合わせて総務省が発表した日本の高齢者人口(9月15日現在推計)によると、65歳以上の高齢者は前年比111万人増の3,296万人、総人口に占める割合は同0.9ポイント増の25.9%となり、ともに過去最高を更新した。

17日 8月の訪日外客数、前年同月比22.4%増

日本政府観光局の発表によると、8月の訪日外客数(推計値)は、円安のほか、羽田空港の国際線発着枠拡充や、東アジアからの地方空港へのチャーター便就航などにより、前年同月比22.4%増の110万9,600人で、19ヶ月連続で増加した。

19日 9月の月例報告、景気の基調判断を下方修正

内閣府は9月の月例経済報告で、景気の基調判断を「このところ一部に弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とし、前月の判断から引き下げた。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年=100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2008 (H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	110.7	1,093,519		209,511
2009 (H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010 (H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011 (H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012 (H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2013 (H25)	835,998	640,633	449,134	1.256	10,855	27,823	97.0	980,025	150,536	197,774
2013 (H25) 6	828,305	635,807	439,885	1.303	897	3,837	95.0	83,704	14,637	16,385
7	834,873	629,734	439,803	1.296	1,025	1,996	97.6	84,801	13,038	17,127
8	835,572	629,421	440,521	1.291	819	1,663	97.1	84,343	14,102	15,823
9	833,865	630,050	444,827	1.277	820	1,902	98.6	88,539	18,916	15,059
10	835,418	630,216	441,348	1.277	959	1,553	99.2	90,226	14,130	15,911
11	839,935	634,827	444,172	1.271	862	1,379	99.5	91,475	11,049	16,963
12	870,015	640,633	449,134	1.258	750	1,344	100.0	89,578	12,377	21,399
2014 (H26) 1	871,198	637,558	446,922	1.254	864	3,151	103.9	77,843	7,918	17,117
2	854,749	638,211	446,974	1.250	782	1,162	101.5	69,689	10,912	14,690
3	861,177	651,751	453,240	1.234	814	1,170	102.2	69,411	22,945	19,562
4	860,389	650,546	448,609	1.233	914	1,411	99.3	75,286	13,563	14,677
5	861,273	649,604	449,145	1.229	834	1,726	100.0	67,791	10,203	15,929
6	856,484	652,645	450,474	1.222	865	1,920	96.6	75,757	16,182	16,317
7	863,217	644,584	449,331	1.219	882	1,295	97.0	72,880	15,774	17,174
8	864,799			1.214	727	1,358	P 95.5	73,771	13,974	16,263
前月比 %	0.2	-1.2	-0.3	-0.005% イト	-17.6	4.8	-1.5	1.2	-11.4	2.8
前年同月比%	3.5	2.4	2.2	-0.077% イト	-11.2	-18.3	-2.9	-12.5	-0.9	1.6
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省	経済産業省	

※企業倒産は負債額1千万円以上

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年=100	消費者 物価指数 2010年=100	景気動向 指数 (一致) 2010年=100	完全 失業率 (季節調整) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年々末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月々平均) (円/US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年=100)
2008 (H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009 (H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010 (H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011 (H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	95,507	1,295,841	79.76	165.195
2012 (H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	10,395.18	48,237	1,268,125	79.79	169.679
2013 (H25)	4,562	101.9	100.0	-	4.0	16,291.31	33,061	1,266,815	97.71	188.334
2013 (H25) 6	379	101.6	99.8	107.1	3.9	13,677.32	3,777	1,238,713	97.43	175.427
7	402	102.2	100.0	108.2	3.8	13,668.32	6,004	1,254,033	99.71	176.854
8	311	102.4	100.3	108.5	4.1	13,388.86	1,571	1,254,204	97.87	180.025
9	446	102.6	100.6	109.4	4.0	14,455.80	5,948	1,273,446	99.24	180.555
10	354	102.5	100.7	110.6	4.0	14,327.94	-1,543	1,276,751	97.85	181.605
11	379	102.5	100.8	111.2	4.0	15,661.87	-5,969	1,275,352	100.03	184.132
12	359	102.8	100.9	111.8	3.7	16,291.31	-6,799	1,266,815	103.46	188.334
2014 (H26) 1	434	102.9	100.7	114.6	3.7	14,914.53	-15,861	1,277,058	103.94	187.995
2	491	102.8	100.7	113.0	3.6	14,841.07	6,077	1,288,206	102.13	189.005
3	666	102.8	101.0	114.6	3.6	14,827.83	1,597	1,279,346	102.27	187.695
4	293	105.8	103.1	111.1	3.6	14,304.11	2,138	1,282,822	102.56	187.313
5	304	106.1	103.5	111.0	3.5	14,632.38	5,112	1,283,920	101.79	186.105
6	379	106.2	103.4	109.3	3.7	15,162.10	-3,679	1,283,921	102.05	187.031
7	391	106.6	103.4	109.9	3.8	15,620.77	P 4,167	1,276,027	101.72	187.984
8	281	P 106.4	103.6	P 108.5	3.5	15,424.59	P 2,871	1,278,011	102.96	187.760
前月比%	-28.1	-0.2	0.2	-1.4ポイント	-0.3% イト	-1.3	-	0.2	1.2	-0.1
前年同月比%	-9.5	3.9	3.3	-	-0.6% イト	15.2	82.7	1.9	5.2	4.3
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2008 (H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009 (H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010 (H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	-1,287	47,633	26,780	57	52,781	485,157	391
2013 (H25)	1,347,650	-5,925	-1,762	48,252	27,298	58	11,199	474,343	105
2013 (H25) 6	1,338,181	-55	-236	48,018	26,179	5	573	29,714	34
7	1,337,580	6	-64	47,328	26,177	6	620	44,702	76
8	1,337,098	74	-143	47,985	26,238	2	205	30,741	7
9	1,336,664	65	-95	47,776	26,550	3	420	48,855	31
10	1,336,206	-24	-225	47,669	26,528	7	798	40,103	10
11	1,335,656	-140	-173	47,972	26,531	3	650	29,338	3
12	1,334,803	-318	-621	48,440	26,804	8	975	38,752	21
2014 (H26) 1	1,333,729	-132	349	47,623	26,655	3	281	43,029	32
2	1,332,587	-264	-182	47,777	26,780	7	1,820	36,025	19
3	1,331,624	-5,127	-198	48,252	27,298	2	60	41,630	10
4	1,325,767	244	-209	48,326	26,649	11	1,524	40,601	21
5	1,325,297	-260	15	48,172	26,982	5	438	28,050	14
6	1,324,485	-194	-217	48,521	26,962	7	1,345	42,254	13
7	1,323,719	-81	-109	47,919	27,010	6	930	35,122	15
8	1,323,182	-189	-194	P 48,556	P 27,045	3	325	26,691	9
9	1,322,461	-52	-52			6	435		
前月比%	-0.1	-	-	1.3	0.1	100.0	33.8	-24.0	-38.7
前年同月比%	-1.1	-	-	1.2	3.1	100.0	3.6	-13.2	24.3
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数  
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※日銀券の年次計数は年度累計  
 ※手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2008 (H20)	106.6	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009 (H21)	90.3	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010 (H22)	100.0	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011 (H23)	95.8	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2012 (H24)	104.7	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.92	0.61
2013 (H25)	106.4	6,461	4,193	1,958	632	197,238	60,716	1.06	0.72
2013 (H25) 6	107.0	704	434	225	78	15,904	4,339	1.00	0.69
7	102.7	622	397	180	68	28,111	7,573	1.00	0.70
8	108.3	612	440	160	68	21,675	7,285	0.99	0.71
9	104.0	668	465	178	76	24,365	12,720	0.99	0.70
10	106.2	697	474	209	78	22,887	4,680	1.06	0.72
11	106.7	673	443	198	72	8,600	2,447	1.04	0.75
12	106.7	562	313	215	54	6,920	2,043	1.09	0.76
2014 (H26) 1	114.8	294	169	110	30	4,161	1,830	1.17	0.78
2	108.0	227	102	113	21	6,158	837	1.14	0.77
3	108.7	283	175	86	30	8,872	4,918	1.15	0.79
4	105.5	525	388	107	59	20,068	7,713	1.20	0.81
5	105.8	435	335	77	51	13,582	3,878	1.22	0.83
6	100.6	528	364	126	61	22,614	6,545	1.08	0.80
7	P 112.6	557	306	213	56	21,139	6,910	1.11	0.80
8		462	308	113	52	14,906	6,938	1.10	0.79
前月比%	11.9	-17.1	0.7	-46.9	-6.9	-29.5	0.4	-0.01ポイント	-0.01ポイント
前年同月比%	9.6	-24.5	-30.0	-29.4	-23.2	-31.2	-4.8	0.11ポイント	0.08ポイント
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による  
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	あおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2008 (H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,927	-	-
2009 (H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010 (H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011 (H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,439	-	-
2012 (H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,070	-	-
2013 (H25)	179,920	31,442	49,982	99.6	267,928	-	12,291	-	-
2013 (H25) 6	14,778	2,595	4,188	99.1	266,040	8,788	961	-	-
7	14,852	3,205	4,662	99.3	264,852	9,255	1,036	51.5	} 0.7
8	16,077	2,103	3,259	99.4	253,893	8,939	1,010	-	
9	13,790	2,784	4,503	100.4	238,310	7,801	812	-	
10	14,186	2,718	3,957	100.4	239,619	7,239	829	51.5	} 17.5
11	14,427	2,748	4,448	100.4	231,726	6,630	683	-	
12	19,083	1,986	3,576	100.8	272,465	7,265	748	-	
2014 (H26) 1	14,897	2,421	4,097	101.0	220,923	11,970	1,832	54.8	} 6.4
2	13,091	2,872	4,971	101.2	245,666	9,677	1,296	-	
3	17,284	4,814	7,625	101.1	338,731	7,491	884	-	
4	13,084	2,603	4,160	103.3	253,114	7,508	929	46.0	} -12.8
5	14,149	1,981	3,448	103.7	286,793	8,493	1,016	-	
6	14,204	2,599	4,374	103.8	264,022	7,897	865	-	
7	14,638	3,195	4,573	104.0	247,510	8,598	1,023	45.7	
8	P 16,226	1,878	2,730	103.8	278,121	7,895	836	-	-
前月(期)比%	-	-41.2	-40.3	0.1	12.4	-8.2	-18.3	-0.3ホ* イト	-19.2ホ* イト
前年同月(期)比	-2.4	-10.7	-16.2	4.7	9.5	-11.7	-17.3	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

※大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2008 (H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009 (H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010 (H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011 (H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012 (H24)	274,892	263	164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2013 (H25)	255,696	317	191	97,591	19,672	7,651	35,866	122,070	141,664
2013 (H25) 6	17,874	300	-	2,746	385	707	2,057	5,533	11,633
7	11,639	306	-	4,083	877	571	0	16,446	13,208
8	4,336	346	-	11,510	2,700	773	3,245	8,113	10,738
9	18,836	247	138	26,242	4,232	554	2,077	7,943	12,496
10	25,439	249	175	22,248	3,477	457	1,909	9,168	12,353
11	22,057	288	209	13,181	3,761	603	1,891	10,374	9,008
12	24,081	331	184	5,875	1,574	830	5,792	8,328	11,731
2014 (H26) 1	28,422	305	196	4,176	1,043	698	4,222	11,047	12,072
2	29,540	295	194	4,157	1,120	567	4,467	7,203	11,997
3	32,106	295	200	1,694	618	608	3,468	8,989	10,033
4	27,872	317	246	1,156	527	546	2,942	10,403	29,909
5	21,482	356	-	2,146	414	849	1,907	11,646	11,379
6	13,857	388	-	2,383	464	384	2,522	23,079	11,981
7	8,792	446	-	6,623	1,362	974	2,486	9,990	24,813
8	2,911	510	-	13,172	2,686	593	2,288	10,024	11,906
前月比 %	-66.9	14.3	-	98.9	97.2	-39.1	-8.0	0.3	-52.0
前年同月比%	-32.9	47.4	-	14.4	-0.5	-23.2	-29.5	23.6	10.9
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数



### 青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (°C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2013 (H25)	10.5	1,664.0	1,515.5	14,968
2013 (H25) 7	21.8	144.0	136.5	1,407
8	24.7	308.0	185.2	1,749
9	20.4	238.5	172.1	1,240
10	14.6	204.5	101.1	1,164
11	6.7	136.0	87.2	1,139
12	2.0	121.0	71.1	1,219
2014 (H26) 1	-1.6	168.0	40.5	1,280
2	-1.3	88.5	76.9	989
3	2.5	145.5	139.2	1,149
4	8.8	14.0	259.5	1,004
5	14.6	46.0	206.8	1,087
6	18.1	122.0	168.6	1,022
7	23.2	107.0	204.4	1,280
8	23.6	274.0	132.1	1,530
前月比 %	0.4°C	167.0ml	-72.3h	19.5
前年同月比%	-1.1°C	-34.0ml	-53.1h	-12.5
資料出所	気象庁			外務省

### ☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	0.0	-17.1	5.6
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-6.3	5.7	3.7
10~12月	18.6	7.5	24.1
2014 (H26)			
1~3月	9.8	5.7	6.3
4~6月	-13.6	-15.0	-10.5
7~9月	-13.6	-5.0	-14.3
資料出所	青森銀行BSI('14.7~9月期は見直し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2013 (H25) 7	293,503	179,953	234,266	842	367	706	141	106	124
8	293,531	179,933	234,253	486	246	460	151	79	112
9	293,422	179,803	234,203	640	308	574	147	106	121
10	293,219	179,831	234,124	710	282	553	260	75	110
11	293,100	179,796	234,117	613	312	582	170	72	187
12	292,949	179,685	234,038	516	285	385	109	103	165
2014 (H26) 1	292,769	179,582	233,951	537	268	534	75	22	105
2	292,437	179,415	233,919	693	340	572	29	16	71
3	292,241	179,248	233,857	1,207	613	915	55	28	90
4	290,568	178,399	233,011	607	276	592	158	81	117
5	291,307	178,626	233,065	463	229	402	108	67	76
6	291,194	178,519	232,962	644	310	554	128	70	95
7	291,003	178,434	232,953	885	346	641	190	83	114
8	290,915	178,358	232,971	473	226	374	101	65	108
9	290,838	178,268	232,878						
前月比 %	-0.0	-0.1	0.0	-46.6	-34.7	-41.7	-46.8	-21.7	-5.3
前年同月比%	-0.9	-0.9	-0.6	-2.7	-8.1	-18.7	-33.1	-17.7	-3.6
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森	弘前	八戸	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2013 (H25) 7	0.59	0.48	0.75	2	200	1	200	1	30
8	0.61	0.52	0.83	0	0	0	0	1	120
9	0.62	0.67	0.93	1	10	0	0	0	0
10	0.70	0.72	0.91	2	215	0	0	3	213
11	0.67	0.66	0.94	0	0	0	0	2	620
12	0.53	0.45	0.75	0	0	1	23	3	759
2014 (H26) 1	0.52	0.40	0.73	0	0	1	135	0	0
2	0.65	0.51	0.81	4	370	0	0	1	90
3	0.73	0.56	0.86	0	0	0	0	2	60
4	0.69	0.55	0.81	6	472	0	0	1	100
5	0.69	0.56	0.77	2	88	0	0	0	0
6	0.70	0.56	0.80	2	185	0	0	1	100
7	0.72	0.54	0.83	2	230	0	0	2	450
8	0.80	0.60	0.89	1	150	0	0	2	175
9				1	25	3	330	0	0
前月比 %	0.08 ポイント	0.06 ポイント	0.06 ポイント	0.0	-83.3	-	-	-100.0	-100.0
前年同月比%	0.19 ポイント	0.08 ポイント	0.06 ポイント	0.0	150.0	-	-	-	-
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

※有効求人倍率は原数値による